

せせらぎみつせ

令和2年8月号

発行：佐賀市立三瀬公民館 佐賀市三瀬村三瀬2762-2 TEL0952-56-2003 FAX0952-56-2030 E-mail:kmitsuse@city.saga.lg.jp

七夕飾

—新型コロナ禍の終息を願って！
地域のみなさんへの応援メッセージ！—



三瀬校の小浜校長先生、江島校長先生、豆田支所長さんをはじめ多くの方から七夕飾り『新型コロナに負けないで!応援メッセージや願い事』をいただきました。「みつせ村民みんなで支え愛(合い)」で頑張りましょう。そのメッセージの一部を紹介します。

☆三瀬校では、感染対策をしながらも、日常の学校生活へ向けて、児童生徒と職員が一体となって取り組んでいます。自然豊かで風光明媚な三瀬村の魅力を、訪れた方々が満喫できるように、そして、いつもの三瀬村の生活のために、我慢しながらも、油断をせず、引き続き力を合わせて乗り越えましょう!
三瀬中学校 校長 小浜 義博

☆コロナ禍が収まり、みつせの子どもたちが、昔のように毎日楽しく、元気に過ごせる日が早く訪れますように。
三瀬小学校 校長 江島 裕章

☆一日も早く ハグやハイタッチができますように…
三瀬保育園 園長 安田かよ子

☆今年は、我慢、我慢の年になりました。幸い田舎では、農作業などの外での活動に制限はありませんが、都市部では近くの公園でも周りに気を配り三密を避ける事ばかりで気が滅入ってしまいそう。私は、一月に栃木で二人目の孫が生まれ、三月には愛知で三人目の孫が生まれたんだけど会いにも行けず寂しい思いです。たまに送ってくれる孫の写真・動画が唯一の楽しみ。皆さんも不自由な不安な生活を強いられていると思いますが、こころの我慢がきっと良い方向に向かっていくものと確信しています。早く、この状況が終息することを皆さんと共に願っています。
三瀬支所長 豆田 幸村

☆三瀬で田舎暮らしができることがありがたい!規則正しい生活、味噌や納豆などの伝統的な日本食や旬の野菜を食べて免疫力を高める努力をし、一旦コロナに感染しても薬に頼らず自力で回復してほしい。
三瀬村老人クラブ連合会 会長 田中 欽二

☆コロナ、コロコロ早く消えてねえ… 家族・地域で自分なりに気をつけましょう 明るい笑顔で元気をだしましょう。
三瀬村老人クラブ連合会 副会長 無津呂幸子

老人クラブ女性部研修会 7月3日

7月3日に公民館で、三瀬村老人クラブ連合会第1回女性部研修会が開催されました。グループ協議では、8支部のヘルパーの皆さんが3グループに分かれ、各自の活動状況・抱える問題点や今後の取り組み等について熱心な意見交換が行われました。また、講話では、田中欽二会長により「病気になる生き方」と題して行われました。「食で治せない病気は、医もこれを治せない。(医聖ヒポクラテスの2000年前の言葉)」等を引用され、『医食同源』であることを強調されました。また、コロナ第2波完全対応「感染リスクを激減!病気になる生き方10」についても、マスク着用、水うがい、緑茶、歯磨き、睡眠、適量の飲酒、日光浴…の効用についても紹介されました。



三瀬村社会人権・同和教育推進協議会総会・研修会 7月17日

この会は、日本国憲法に定められた基本的人権を尊重し、人権・同和教育の正しい理解と、人権・同和教育の実践につとめ、明るい民主的な社会づくりの推進を図ることを目的としています。会では、会長に森田忠次氏、副会長に藤野真也氏が選出されるとともに、令和2年度の事業計画及び予算等について審議され承認されました。また、総会後には、演題「だれもが暮らしやすい社会に向けて～コロナウイルスと人権～」のテーマのもと、講師：社会同和教育指導員 西 勝弘氏を迎えての研修会が開催されました。西社会教育指導員は、コロナ禍で生じた差別事象について、「恐れるべきはコロナウイルスによる病気・不安・差別であり、人ではない」と熱く語られました。

